



検索

▶ ページの探し方 ▶ カテゴリーから探す ▶ 府庁の組織から探す

文字サイズ: 縮小 標準 拡大

トップ

くらし・住まい
まちづくり人権・男女
共同参画福祉・
子育て教育・学校・
青少年

健康・医療

商工・労働

環境・
リサイクル農林・
水産業都市魅力・
観光・文化都市計画・
都市整備防災・安全・
危機管理府政運営・
市町村

[ホーム](#) > [教育・学校・青少年](#) > [社会教育・教育コミュニティ・生涯学習](#) > [家庭教育支援](#) > 家庭教育支援の取組み訪問記録(交野市「家庭教育学級」での親学習) [はじめての方へ](#) [サイトマップ](#)

家庭教育支援の取組み訪問記録(交野市「家庭教育学級」での親学習)

更新日:平成25年11月25日

交野市「家庭教育学級」で行われた親学習の取組みを取材しました！



■ひとことと言えばこんな取組みです

- ★交野市内の小学校1年生から3年生までの児童を持つ保護者を対象とした「家庭教育学級」で行われている親学習です。
- ★親学習リーダーがファシリテーターをつとめ、楽しく、深く、子育てについて話し合います。

■ここがポイントです

1 「家庭教育学級」で親学習を実施しています。

○市内小学校1年生から3年生までの児童を持つ保護者を対象として実施(「家庭教育学級」)

- ・家庭の教育力の向上のため、小学校1年生から3年生までの児童を持つ保護者を対象として、子育てをする保護者の意見交換や相談ができる、家庭教育に関する学習機会の提供を行っている。
- ・「家庭教育学級」は年間で全6回。そのうち5回を交野市子ども家庭サポーターの会「ポラリス」が担当し、親学習を行っている。
- ・「家庭教育学級」参加希望者は40名。そのうち当日の日程や内容に合わせて参加している。
- ・「家庭教育学級」を卒業した小学校4年生から中学生までの児童・生徒を持つ保護者が「家庭教育学級友の会」を組織し、自主的に家庭教育に関する講座を企画運営している(年間10回)。

○平成18年より7年間も継続して行われている活動で、年度を超えたりピーターの参加がある。

- ・それまでの「家庭教育学級」は、毎回講師を招いて講義形式の学習だったが、「ポラリス」による参加型ワークショップの親学習を実施することになり、現在まで継続している。
- ・家庭教育学級での親学習は好評で、毎年継続して実施されているだけでなく、「家庭教育学級」の卒業生でつくられている「家庭教育学級友の会」でも毎年親学習を実施している。
- ・複数の年齢の児童の保護者が対象であり、昨年度に引き続き参加したいと希望する保護者がいるため、講座内容は毎回新規で考えている。

○広い地域、異年齢の子を持つ親との交流がためになったという感想がみられる。

- ・一年間を通じた連続講座なので、講座を重ねるうちに顔なじみになっていく。今回は4回めだったこともあり、参加者どうしから「お久しぶり！」「どこの学校でしたっけ？」「そうそう〇〇ちゃんの家の近くや言うてたね」といった会話がみられた。
- ・「いつもママ友と話をしていた、それもいいんやけど、いろんな学校のお母さんと話をするのは大事ななあと思った」という参加者の感想があった。

2 「ポラリス」(交野市子ども家庭サポーターの会)。

○OYARENIに所属し、府の研修会にも積極的に参加。

- ・「ボラリス」は大阪府の虐待防止アドバイザー養成講座(子ども家庭サポーター)の修了者が有志で結成。
- ・大阪府親学習リーダー連絡協議会(OYAREN)にも所属し、府立高校で実施された親学習のファシリテーターも務めている。
- ・府の研修会等に積極的に参加するなど、スキルアップに努められている。
- ・講座に向けて、事前に複数回にわたる入念な打ち合わせ、事後にはしっかりとふりかえりを行い、より質の高い活動になるよう取り組んでいる。

○子育て交流スペース「ぼらりすひろば」を運営。

- ・交野市つどいの広場事業、子育て交流スペース「ぼらりすひろば」も運営している。0歳から3歳児までの子どもを持つ保護者を対象に、好きな時間に来て自由に過ごせるスペースを提供したり、行事等を行ったりしている。
- ・「ぼらりすひろば」にボランティアにいられていた方が、親学習を体験して興味を持ち、現在では親学習の活動を手伝うようになった。

○それぞれができることに取組み、チームとして機能している。

- ・親学習リーダーとして活動する方、親学習講座のお手伝いをする方、「ぼらりすひろば」で活動する方など、それぞれ自分たちの得意なことやできることに取組み、チームとして機能している。(複数にわたって活動されている方もいる)
- ・今回の親学習講座では、メインのファシリテーター、参加者と一緒に来た子どもに対応するスタッフ、最後の読み聞かせを行うスタッフなど、役割を分担されていた。

| | | |
|------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
|  |  |  |
| <p>交野市子ども家庭サポーターの会「ボラリス」がファシリテーターを務める</p> | <p>参加者が親学習に集中できるように、「ボラリス」のメンバーが一緒にきた子どもの対応をしている</p> | <p>ワークの最後に「ボラリス」が、今日のテーマに関する絵本の読み聞かせを行った</p> |

3 この日のテーマは「子どもの声を聴く」-対話のできる関係づくり-

○「子どもの権利条約」を題材に子育てについて語りあう

- ・「子どもの権利条約」に関するワークシートを使用し、多様な活動を通して、参加者どうしが自分の思いを出し合って、話し合いを深めた。
- ・はじめに、「子どもの権利条約」の条文(簡略化したもの)を穴埋めするスタンプラリーを行った。正解すると、スタッフからスタンプを一つずつ押しもらえ、全て集めると、ある言葉になり、スタッフから「世界でたったひとりの『た・い・せ・つ・な』〇〇さん」と声を掛けられる。
- ・「子どもの権利条約」について感想を話し合った。「『おとなは子どものはなしをぜんぶききます』とあるが、自分は話を聞いていないなあ」、「『子どもは、からだやこころをやすめたり、遊んだりできます』とあるけど、宿題は早くしてほしいし…」など、自分たちの子育ての経験から様々な意見が出た。
- ・ファシリテーターが自身の子育てについて語ったり、違う視点からの意見を紹介することで、さらに話し合いが深まり、時間がきてても話が尽きないくらいに盛り上がった。

| | | |
|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|
|  |  |  |
| <p>本日使用したのワークシート。スタンプラリーでゴールすると、スタッフから、「たいせつな〇〇さん」と、声を掛けられる。</p> | <p>子どもの権利条約の条文の感想をきっかけに、参加者自身の子育てについて思いを話し合う。</p> | <p>日頃、誰かに対して思っていることを付箋に書いて貼り出し交流した。はじめはネガティブな意見ばかりだったが、ファシリテーターの声掛けによりプラスの意見も出るようになった。</p> |

<参加者の感想から>

- ・人前で意見を言うことが苦手な私なので、朝、子どもに「今日は行くのやめておこうかな」と言ったら、「行った方が良いで」と言われました。いつも帰る時にはやっぱり来てよかったなあと感じています。
- ・他のお母さん方もいろいろと話ができ、共感したり自分と違う視点を教えてもらったりして、とてもよい時間を過ごすことができました。ありがとうございました。
- ・今回初めて参加させていただきました。少し緊張しましたが、いろんな人たちとお話できて、とても楽しく過ごすことができました。子育ての参考にさせていただこうと思います。
- ・子どもがしっかり意見を持っているのに、子どもの意見よりも自分の視線で、やりたい方向へ仕向けている聞き方をしているようで課題に感じました。
- ・今日の話聞いて、意見を聞くというのは言いなりになるのではないことが分かりました。これから受け止めることを学んでやっていこうと思いました。
- ・最近子どもが質問にあまり答えてくれないことが多くて気になっていましたが、私が普段から子どもの話を聞きたりないことが原因のように思えました。子どもと会話をしていることだけで自己満足してしまっている自分に気づきました。
- ・「子どもの権利条約」は、学生の時にやりました。その時は長い文で難しそうに書いてあるけど、あたり前の事だなと感じたのを憶えています。ただ、今、母になってそのあたり前の事がどんなに難しいことか、人々ですからやはり感情がぶつかり合い、そして反省する毎日です。
- ・今日は「子どもの権利」についてはじめて知りました。本音は、毎日ごはんを作ったり、布団しいたり、嫌になることもあります。私たちが親をやる権利があるとわかったら、なんだかがんばれます。
- ・スタンプラリーの最後に、「せかいでたったひとりのたいせつな〇〇さん」と言ってもらえたのがうれしかったです。
- ・お父さんたちに、このようなことを学んでほしいです。
- ・ふせんに自分の思っていることや気持ちを書くワークは、あらためて自分のことを考えたりするいい機会になりました。

■ ある日の家庭教育学級での親学習

日時

平成25年10月11日(金曜日) 10時から12時

場所

交野市立青年の家

親学習リーダー

交野市子ども家庭サポーター「ポラリス」

参加者

市内小学校1年生から3年生までの児童を持つ保護者
当日の参加数14名

このページの作成所属
[教育庁 市町村教育室地域教育振興課 地域連携グループ](#)

[1つ前のページに戻る](#)

[このページの先頭へ](#)

[お問合せ](#) [ユニバーサルデザインについて](#) [個人情報の取り扱いについて](#) [このサイトのご利用について](#)

大阪府

本庁 〒540-8570 大阪市中央区大手前2丁目 (代表電話)06-6941-0351
咲洲庁舎 〒559-8555 大阪市住之江区南港北1-14-16 (代表電話)06-6941-0351

[大阪府庁への行き方▶](#)

© Copyright 2003-2016 Osaka Prefecture. All rights reserved.